



指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆1 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるようになるためには、次のような指導を行うことが大切です。
- 説明文の学習で学んだ構成や接続語の役割と書く活動での文章構成を関連付けるなど、つながりが意識できるような指導をしていますか。
  - 書く活動を取り入れるときに、条件（文字数、キーワードなど）を提示して書く活動に取り組ませていますか。
  - 調べて分かった複数の事実から自分の考えをまとめるような活動を授業に位置付けていますか。

- ◆2 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができるようになるためには、次のような指導を行うことが大切です。
- 低学年から、一文の長さを意識し、長くて伝わりにくいと感じた文は適当な長さの複数の文に分けて書くことができるように指導していますか。
  - 自分の書いた文章や友達の書いた文章を読み返したり書き直したりする活動を授業の中に位置付けていますか。
  - 文章を書く様々な機会を捉えて、接続語を使って文章を書くことができるように指導していますか。

- ◆3 目的に応じて、質問を工夫することができるようになるためには、次のような指導を行うことが大切です。
- 質問の仕方について「話の中心に沿って聞く」「意図を捉えて聞く」などの系統性を意識した指導をしていますか。
  - 自分が獲得したインタビュー技能を確認するために、実際の場面を想定してインタビューの練習をしたり効果について考えたりする活動を位置付けていますか。
  - 国語科で学んだインタビューを活用して総合的な学習の時間に実践するなど、教科横断的な視点でカリキュラムを見通していますか。

誤答分析を基にした指導改善【1三を例として】

■ 設問の概要と結果

	出題の趣旨（問題形式）	問題の概要	県正答率	全国正答率
1三	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。（記述式）	公衆電話について調べたことを報告する文章の空欄に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く。	28.4	28.8
			県無解答率 2.1	全国無解答率 3.8

【正答の条件】

- ① 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いている。
- ② 【報告する文章】にふさわしい表現で書いている。
- ③ 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内で書いている。

■ 予想される誤答例と解説

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
<p>・(なぜなら) けいたい電話をわすれたときや、けいたい電話の電池が切れたときに使うことができるからです。</p> <p>・公しゅう電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かったからです。</p>	<p>(なぜなら)公しゅう電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かったからです。</p>	<p>(なぜなら)多くの人がけいたい電話を持つ中で、公しゅう電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。</p>
<p>「2 調査の内容と結果」の(1)または(2)からのみ理由を書いている。</p>	<p>「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)以外の内容から書いている。</p>	<p>報告する文章にふさわしい表現で書くことはできていて、「2 調査の内容と結果」の(1)や(2)から書いているが、分かったこと以外の内容について取り上げて書いている。</p>

■ 改善・充実に向けて

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるようにするためには、授業に、次のような活動を設定することが大切です。

【報告する文章】

公衆電話について

1 はじめに

2 調査の内容と結果

(1)

(2)

(3)

3 調査の結果をもとに考えたこと

調査報告文の形式とこれまでの学習との関連を考える。

「調査報告文」の文章全体は、どのような組み立てになっていますか。

大きく分けると「初め・中・終わり」の組み立てになっています。「初め」と「終わり」は対応しています。

「中」には調べて分かったことが3つに分けて書いてあります。

(1)(2)(3)で分かったことをまとめた文章は、それぞれどこに書かれていますか。なぜその文章がまとめの部分だと分かりましたか。

「このことから」や「このように」、「この資料から」という言葉で分かりました。

そういえば、3年生や4年生の時に説明文の学習のときにも接続語に注目して読みました。

そうですね。説明文で学習した文章の読み方は、文章を読む時だけではなく、自分で調べたことなどを書く時にも生かされますね。

総合的な学習の時間で調べて分かったことも「調査報告文」にしてまとめられそうです。

# 小学校6年生（算数）

成果(◇)と課題(◆) ※【問題番号】(県正答率)

- ◇ 台形について理解することができている。 【1(1)】(93.9)
- ◇ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る技能が身に付いている。 【2(1)】(95.7)
- ◇ 示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができている。 【3(1)】(81.8)

- ◆ 1 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題が見られる。 【1(3)】(44.4)

1

下のような長方形の紙(□)があります。方眼紙は、1目もり1cmです。

図1の形の面積は、16cm<sup>2</sup>であることがわかりました。

私は、ほかの求め方を考えました。

【ちひろさんの求め方】

$$5 \times 4 = 20$$

$$4 \times 2 \div 2 = 4$$

$$20 - 4 = 16$$

答え 16cm<sup>2</sup>

【ちひろさんの求め方】の中の「20-4」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図1を使って考えてもかまいません。

ちひろ

ゆうたさんは、図1の形の面積を、次のように求めました。

【ゆうたさんの求め方】

$$(3+5) \times 2 \div 2 = 8$$

$$8 \times 2 = 16$$

答え 16cm<sup>2</sup>

図1の形を、下の図のように、合同な台形2つとしました。

まさるさんは、【ゆうたさんの求め方】の中の「8×2」が、どのようなことを表しているのかを、下のように説明しました。

まさる

8は、1つの台形の面積を表しています。  
8×2は、1つの台形の面積を2倍していることを表しています。

- ◆ 2 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述することに課題が見られる。 【2(3)】(48.7)

2

かいとさんたちは、水を大切にしているのかどうかを知りたいと思います。自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つけた。

3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと考え、グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えます。

あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。  
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。  
また、その番号を選んだわけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

かいと

私たちが、水を大切にしているといえるのでしょうか。

かいと

市全体の水の使用量はわかりませんが、1人で水をどのくらい使っているのかわかりません。

ゆうた

グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

あやの

- ◆ 3 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題が見られる。 【3(2)】(29.2)

3

ゆいさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもした考えをふり返って、次のようにまどめました。

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式に考えました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array}$$

変わらない

だから、 $421 - 298$ の答えの□は、123です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array}$$

変わらない

だから、 $600 - 201$ の答えの□は、399です。

【ゆいさんの計算の仕方】

ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わりません。このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のようを考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array}$$

変わらない

だから、 $400 \div 25$ の答えの□は、16です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array}$$

変わらない

だから、 $90 \div 18$ の答えの□は、5です。

2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまどめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまどめると、どのようなようになりますか。  
下の□の中に、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

ゆい

【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないんですね。

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみよう。）

- ◆ 1 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することができるようにするためには、次のような指導を行うことが大切です。
  - 既習の求積可能な図形を、どのように組み合わせた図形であるかを考える活動を授業に位置付けていますか。
  - 式のみを提示し、どのように考えているのかを解釈して説明する活動や、式に使われている数や演算が何を表しているのかを説明したり、求めた数が何を表しているのかを考えたりする活動を授業に位置付けていますか。
  - 上記の活動の後で、ある児童が説明した内容を、児童自身が振り返って考え、まとめて簡潔に書く活動を授業に位置付けていますか。

- ◆ 2 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述することができるようにするためには、次のような指導を行うことが大切です。
  - 一つの資料からは判断することができない事柄について、目的に応じて必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断する活動を授業に位置付けていますか。
  - 単位量当たりの大きさについて学習する際に、単位量当たりの大きさを求めるために、問題文や表に示された数に基づいて立式する活動だけでなく、示された複数のグラフから読み取った数に基づいて立式する活動を授業に位置付けていますか。
  - 単位量当たりの大きさを求める活動だけでなく、単位量当たりの大きさを求めるために必要な要素（例えば、人口密度を求めるためには「人口」と「面積」が必要である）を先に考える活動を授業に位置付けていますか。

- ◆ 3 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することができるようにするためには、次のような指導を行うことが大切です。
  - 「商」といった算数の用語を適切に用いた説明を取り上げたり、「わり算の答えのことを何と言いますか。」などと問いかけたりすることを通して、算数の用語を用いて表現する活動を授業に位置付けていますか。
  - 除法に関して成り立つ性質などの計算に関して成り立つ性質を学習する際に、それを計算の仕方を考えたり、工夫して計算したりすることに生かすような活動を授業に位置付けていますか。



誤答分析を基にした指導改善【1】(3)を例として】

■ 設問の概要と結果

	出題の趣旨（問題形式）	問題の概要	県正答率	全国正答率
1(3)	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。（記述式）	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。	44.4	43.9
			県無解答率 4.1	全国無解答率 6.7

【正答の条件】

次の①、②、③の全てを書いている。

- ① 20が、長方形の面積を表していること。
- ② 4が、三角形の面積を表していること。
- ③ 減法が、ある数量からある数量を（または、ある図形からある図形を）取り去ることを表していること。

■ 予想される誤答例と解説

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
<p>20は、長方形の面積を表しています。 4は、三角形の面積を表しています。</p> <p>長方形と三角形の面積について記述できているが、減法がある数量からある数量を（または、ある図形からある図形を）取り去ることを表していることを記述できていない。</p>	<p>20は、長方形の面積を表しています。 20-4は、長方形から4をひいていることを表しています。</p> <p>減法がある数量からある数量を（または、ある図形からある図形を）取り去ることを表していることは記述できているが、20が長方形の面積、4が三角形の面積を表していることのどちらか一方しか記述していない。</p>	<p>20は、たての長さが5cm、横の長さが4cmの長方形の面積を表しています。</p> <p>20が長方形の面積、4が三角形の面積を表していることのどちらか一方しか記述していない。</p>

■ 改善・充実に向けて

示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することができるようにするためには、授業中に、次のような活動を設定することが大切です。

図 1	【ちひろさんの求め方】	図 2
	$5 \times 4 = 20$ $4 \times 2 \div 2 = 4$ $20 - 4 = 16$ <p style="text-align: right;">答え 16 cm<sup>2</sup></p>	
<p>① 既習の求積可能な図形を、どのように組み合わせた図形であるかを説明する。</p> <p>ちひろさんは、図1の図形で、どのような図形に目を向けて考えたと思いますか。</p> <p>ちひろさんは、図1の図形で、どのような図形に目を向けて考えたと思いますか。</p> <p>どこに長方形や三角形がありますか。見つける方法はありますか。</p> <p>図1に、-----のように線をひくと、長方形と三角形が見つけやすくなります。</p>	<p>② 式に使われている数や演算が何を表しているのか、求めた数が何を表しているのかを説明する。</p> <p>図2のちひろさんの「20-4」は、どのようなことを表していますか。</p> <p>では、この「20」や「4」は、何を求めているのですか。</p> <p>「20」は、長方形の面積を求めています。「4」は、三角形の面積を求めています。</p>	